

令和3年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語

令和3年10月3日(日)実施

注意事項

1. 試験時間は45分です。
2. 問題は□から□まであり、13ページまであります。
3. 答えはすべて別紙の解答用紙に記入し、解答用紙だけ提出しなさい。

□ 次の問いに答えなさい。

問1 次の――線のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 列車がテツキヨウを渡る。
- ② うそのショウゲンをする。
- ③ 交通安全のヒヨウゴ。
- ④ 二人は顔がニている。
- ⑤ 周囲からサンドウを得る。
- ⑥ 規則にテらして考える。

問2 次の――線のカタカナを漢字と送りがなに直しなさい。

- ① 良い方向へミチビク。
- ② 身なりをトトノエル。

問3 次の――線の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 情けない結果だ。
- ② 外国と交易する。
- ③ 風上から良いにおいがする。
- ④ 書留郵便で送る。
- ⑤ 本名を名のる。
- ⑥ 美しい景色。

問4 次の読み方をする熟語を二つずつ答えなさい。

- ① イイン
- ② セイカク

問5 次の――線にあたる漢字の総画数を数字で答えなさい。

- ① 荷物をおく。
- ② 問題をイン刷する。

問6 次の部首をもつ漢字を、ア～カからそれぞれ選びなさい。

- ① やまいだれ
- ② るまた・ほこづくり

ア 最 イ 店 ウ 段 エ 祭 オ 病 カ 屋

問7 次の□□には、同じ読みの異なった漢字が入る。(例) にならってその漢字を答えなさい。

(解答にフリガナは必要ありません)

(例) 事故があつたので□□車を呼ぶ。 [答・・・救急]

- ① 解決のためのよい□□が見つからない。
- ② オリンピックの□□式をテレビで見る。

問8 次の()に、下の意味になるように、生き物の名前をひらがなで入れなさい。

- ・ ふくろの (①)。 . . . にげ場がないこと。
- ・ (②) は千年 (③) は万年。 . . . 長生きでめでたいこと。
- ・ とんびが (④) を生む。 . . . 平凡な親がすぐれた子を生むこと。

問9 次の言葉とほぼ同じ意味のものを、ア～エからそれぞれ選びなさい。

① あぶ蜂とらず

② 歳月は人を待たず

ア 鬼に金棒

イ 光陰矢のごとし

ウ 弘法にも筆のあやまり

エ 二兎を追う者は一兎をも得ず

読書は集中力の①クレンになりません。まとまった量の文字を読んで、内容を理解するには集中力が必要です。集中力がなくなってくると、1字面を追っても内容が全然頭に入っていないです。読書②ナれしていない人は、集中力を③ジゾクさせるのが難しく、「面倒くさい」と感じる。

だから、あまり2一生懸命読みこまなくてもいいような軽い本を求めます。古典の名著をあらすじで理解する本のように、3かみくだいて簡単にしたものが売れるのです。そのままの状態だと固くて咀嚼力が必要だけれど、最初からやわらかくしてあれば読める、というわけです。

当然ながら、やわらかいものばかり食べていけばアゴの力はつきません。誰かに4かみくだいてもらわなければいけないってしまいます。それでは一流のものを本当に味わうことは難しいでしょう。

逆に言うと、一度頑張つてアゴの力をつけてしまえば、あとは楽に読めるようになります。

ですから、最初にむしろ5レベルの高い本を④イキオいにまかせて読んでしまうことをおすすめします。最初は理解できない箇所もあり、先に進むのが苦痛で逃げ出したくなるかもしれませんが、それでもとにかく最後まで読み切ってしまう。

わからない言葉を調べたり、キーワードや登場人物の6相関図を書き出して整理する必要がある場合もあるかもしれませんが、そうして少し努力しつつ、最後まで読み通すことができれば自信がつきます。

自信がつくと、次も読めます。さらに次もと、どんどん読めるようになります。「あの本に比べれば簡単だ」「すぐに読めそうだ」と感じるでしょう。

逃げ出さずに本と向き合い、読み続けることで集中力が鍛えられれば、他の趣味にも勉強にも仕事にも良い⑤コウカがあります。「やりたいことはあるのに、なかなかできない」という場合、集中力がかかっていることが多いもの。一つひとつ集中して取り組むことができれば、短時間で目標を⑥タツセイすることができ、その結果余暇も増えます。時間が増えて、やりたいことがもつとできるのです。

私が大学で教えるほかに、テレビでの仕事、書籍の執筆をしながら、毎日大量に本を読み、漫画を読んでテレビを見て映画を見ているというと、「どこにそんな時間が？」と驚かれるのですが、これも読書で培った集中力の賜物と言えるでしょう。

最初に⑦ホソカク的な本を読んで自信をつけることをおすすめますが、「そうは言っても……」と⑦ ごみする人はいると思います。

「世界文学をあらすじで読む」といった本で何とかならないだろうか。一応、教養らしいものは身につくのでは？と思うかも知れません。確かにこういった本は短時間で、とりあえずどんな話なのかわかりますから⑧便利ですね。

ただ、文学のすごさはあらすじにあるわけではありません。あらすじは、「知らないよりは知っているほうがいい」という程度のもので、⑨難解な本をぶつつけ本番で読むよりは、最初にあらすじを理解しておくのと読みやすくなるはなりません。そういう意味では活用できますが、あらすじだけでは体験としての読書にはならないのです。

そこで私がおすすめたのは、「⑩クライマックスだけでも音読する」ことです。あらすじを知ったうえで、重要な⑪シーン^{シー}を声に出して読むのです。

そうすると、かなり読書体験に近づきます。大学生や小学生に、名場面の数ページ分でも音読してもらおうと「音読してみてください。はじめのすごさがわかった」と言います。多少言葉が難しくても、そこに込められた本質に触れる体験となります。

一流の文学というものは、原文にとんでもない力があります。翻訳でも、あらすじとは違うパワーがあります。音読をする^{せま}と、言葉がすごい迫力^{はくりよく}で身に迫ってきます。字面ではなく、身体⑫全体でワールドを味わう⑬カンカクです。著者や登場人物になりきって読んでみると、黙読^{もくどく}ではいまいちつかめなかった心情や行間の意味もわかることがあります。

（「読書する人だけがたどり着ける場所」 齋藤 孝）

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

問1 ～ 線①～⑧のカタカナを漢字に直しなさい。

問2 — 線1「字面」の読みに関する次の文章を読んで、文章中の（ ）に入る適切な言葉を答えなさい。

ただし、①～③はひらがなで答え、④はもっとも適当なものを、ア～ウから選びなさい。

百合子さんは「字面」という言葉をパソコンで打ったとき、うまく漢字に変換へんかんすることができなかった。そこから、百合子さんは「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」の書き分け、かなづかいに興味を持ち、調べると、次のようなことがわかった。

かなづかいの決まりでは、原則的に「ぢ」「づ」は用いず、「じ」「ず」を用いることとなっている。ただし、例外として、次のように「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」は書き分けられることもある。

「鼻+血⇨鼻血」「三日十月⇨三日月」のように、二つの言葉が組み合わせられて「血(ち)」「月(つき)」の意味が残っている場合、「ぢ」「づ」の表記が認められる。つまり、読みをひらがなで書くと「鼻血」は（①）、「三日月」は（②）となる。しかし、「地面」のように、「地+面」となっていて「地(ち)」の意味が残っていても、読みをひらがなで書くと（③）となる。これは、言葉の最初は「じ」「ず」と書く決まりがあるためだ。

以上のことから、「字面」の読みをひらがなで書くと、（④）ア ぢめん イ じづら ウ じずら となる。

問3 — 線2「一生懸命」いっしょうけんめいについて

（1）ここでの「一生懸命」とほぼ同じ意味の言葉としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

- ア ひたすらに イ かたくなに ウ しきりに エ おおいに

(2) 「一生懸命」と同じく「一」で始まる四字熟語は多い。□に漢字一字を入れ、()内の読みとなるように四字熟語を完成させなさい。

ア 一□両断 (いっとうりょうだん) イ 一□一タ (いっちよういっせき) ウ 一□不亂 (いっしんふらん)

問 4 ー 線 3、4 「かみくだいて」について説明した次の文の (①) (②) に入る適切な言葉を、考えて答えなさい。
ただし、それぞれ指定の字数の漢字で答えること。

「かみくだく」は二通りの意味がある。
食べ物を (① 一字) で「かんで」食べやすく、飲みやすく「くだく」という意味と、ある (② 二字) を、相手が理解しやすく、受け取りやすいように、わかりやすく言いかえるという意味である。

問 5 ー 線 6 「相関」、8 「便利」について、それぞれの波線部の漢字がちがう意味でつかわれているものを一つずつ選びなさい。

6 「相関」(二つのものが密接にかかわりあっていること)
ア 相互 イ 相思 ウ 相談 エ 真相

8 「便利」(都合がよいこと、あることをするのに役に立つこと)
ア 有利 イ 利点 ウ 利害 エ 利口

問 6 ー 線 7 □「ごみ」の□に入る漢字一字の言葉としてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア 腰_{こし} イ 腕_{うで} ウ 舌_{した} エ 尻_{しり}

問7 — 線9 「難解」、12 「全体」と反対の意味の漢字二字の言葉をそれぞれ答えなさい。

問8 — 線5 「レベル」、10 「クライマックス」、11 「シーン」とほぼ同じ意味となる二字熟語を、次の漢字を組み合わせてそれぞれ答えなさい。同じ漢字を二度使っても良い。

準 段 山 水 面 場

いま、AI（人工知能）に関心が集まっています。

2017年、AIが囲碁で世界トップ棋士に勝利したというニュースがありました。囲碁は将棋やチェスに比べて盤が広くて*手順が長く、場面によって石の価値が変わるといった特徴があります。チェスなら可能だった、「すべての□を覚え、計算して最適解を出す」というやり方が通用しづらいのです。だから囲碁では、コンピューターが人間に勝つのはまだ先だと思われるていました。

ところが、2017年10月に発表されたグーグル傘下の*ディープマインドによる「アルファゼロ」は、お□本となる先人の*棋譜データすら使わず、ひたすら自己学習により強くなっているとのことです。しかも、囲碁だけでなく他のゲームもできます。もはや人間の□を離れて、コンピューターが自分で学習・成長しているのです。

このようにすさまじいスピードで進化しているAI。この分野の*権威であるレイ・カーツワイルは2045年にシンギュラリティ（技術的特異点）に到達すると言っています。人工知能が人間の脳を超え、世界が大きく変化するというのです。

AIに仕事を奪われないためには何を身につけておくべきか、AIにできないことをできるようにしておくためにはどうすればいいのかといった議論も盛んです。

しかし私に言わせれば1それは*ナンセンスです。「AIにできないこと」を予測したって簡単に覆るでしょう。現在の進化のスピードを見ても、普通の人間の想像をはるかに超える変化が起こるはずで、そこで「AIにできることは学ばなくていい、AIにできないことだけ一生懸命学ぶ」という考えはリスクにはなりこそすれ、人生を豊かにはしてくれません。

AIに負けないことを目的に据えて生きるなんて2本末転倒です。それこそAIに人生を明け渡してしまったようなものです。

AIが出てこようが出てこなからうが、「自分の人生をいかに深く生きるか」が重要なのではないのでしょうか。

人生を深めるために、AIや未来予測についての本を読むのはとても有意義だと思います。

1 「人間の脳を超えた知性を持つAIがいた場合、人間らしいやりとりをすることだって簡単だろう。それでは何が人間を*人間たらしめるのだろうか？

自分は人間に何を求めているだろうか？」などと本を片手に思考を深めていくことで、人生を豊かにしていくことはできるはずです。

私たち人類は「ホモ・サピエンス」知的な人」です。

知を多くの人と共有し、後世にも伝えていくことができるのがホモ・サピエンスのすごいところ。書店や図書館に行けば、古今東西の知が所狭しと並んでいます。偉大な人が人生をかけて真理を探究し、**2**身を削って文学の形に*昇華させ、それを本の形にして誰でも読めるようにしている。**3**知を進化させていくことができます。

家族や友達とおしゃべりするだけなら、サルも犬もやっています。アリだつてやっていますでしょう（声を出しておしゃべりではないかもしれませんが、さまざまなコミュニケーションはとっています）。**4**、動物や虫たちは地域や時代を超えたところにいたものたちが、何を考えていたかを知ることができません。

3本を読まないのは、ホモ・サピエンスとしての誇りを失った状態。

集中力もさらに低下して、いよいよ「本を読まない」ではなく「**4**読（ ）」ようになってしまったら、人類の未来は明るくないのではないかとすら思えてきます。

（「読書する人だけがたどり着ける場所」 齋藤 孝）

※出題の都合上、漢字などの表記を改めました。

*手順・・・囲碁・将棋・チェスなどの石や駒を動かす順番、相手に応戦すること

*デープマインド・・・人工知能をあつかっている会社

*棋譜・・・囲碁・将棋・チェスなどの対戦中の石や駒の動きの記録

*権威・・・ある分野において知識や技術がぬきんで優れていると広く認められている人

*ナンセンス・・・無意味なこと

*人間たらしめる・・・人間であるようにさせる

*昇華・・・高めること

問 1 に入る漢字一字を本文中からさがして答えなさい。

問 2 ー 線 1 「それ」が指し示すことを、本文中の言葉を用いて七十五字以内でまとめなさい。

問 3 ー 線 2 「本末転倒」ほんまつてんどうとあるが、ここでの筆者の考えをまとめた次の文章の（ ）に入る適切な言葉を、ア～ウは本文中から指定の字数で書きぬき、**エ**は本文中の言葉を用いて十字以内で書きなさい。

「本末転倒」とは、「重要なことと、そうではないことをとりちがえること」という意味である。ここでの重要なこととは、AIの登場に関係なく人生を（ア 三字）していくということである。人が生きる上で重要なのは、AIに（イ 四字）ように、AIにできないことを予測し、それだけを（ウ 二字）という考えを持つということではない。いかに自分の人生を深く生きるかということである。そのために、（エ ）が必要だ。

問 4 1 4 に入る言葉の組み合わせとしてもっとも適当なものを、ア～エから選びなさい。

ア	あるいは	だから	でも	たとえば
イ	たとえば	あるいは	だから	でも
ウ	でも	たとえば	あるいは	だから
エ	だから	でも	たとえば	あるいは

問5 ― 線3と言えるのは「本を読むこと」「本」にどのような価値があるからか。それを説明したものとして 適当ではないものを、ア～エから選びなさい。

ア 本を読むことで、人間を超えた知性を持つAIについて知ることでもできる。そして、そういったAIの存在から、人間とは何かと思考を深めていくことで、自分の中の人間性をみつめなおすことができるから。

イ 本を読むことで、人間らしいやりとりを身につけられる。そして、他の動物、虫にはない感情表現が生まれることで、コミュニケーションの中で、自分の思いを伝え、相手の思いも必ず感じ取れるようになるから。

ウ 本を読むことで、古今東西の偉人たちが追究してきた真理や素晴らしい文学にふれることができる。そして、追究した知を後世に伝えようと努力をする人間、「知的な人」を生み出すことにつながっていくから。

エ 本を読むことで、地域や時代を超えて多くの人と知を共有し、伝えていくことができる。そして、本は、知を進化させていくことができる、「ホモ・サピエンス」的「知的な人」である人間しか生み出せないものだから。

問6 ― 線4 () に入る適当なひらがな三字を答えなさい。

令和三年度 函館日百合学園中学校 オープン模試

国語

解答用紙

受験番号

名前

一

問 1	①	テシキモヒ	②	シヨウメン	③	ヒメヒコ	④	ニ ている
	⑤	サントウ	⑥	テ らし				
問 2	①		②					
問 3	①		②		③		④	
	④		⑤		⑥		⑦	
問 4	①		②		③		④	
問 5	①		②		問 6	①	②	
	③		④		問 7	①	②	
問 8	①		②		③		④	
問 9	①		②					

二

問 1	①	クレン	②	ナ れ	③	シラケ	④	イキオ い
	⑤	コウカ	⑥	タッセイ	⑦	ホンカク	⑧	カンカク
問 2	①		②		③		④	
問 3	(1)		(2) ア		イ		ウ	
問 4	①		②		問 5	③	④	
問 6		問 7	⑤		⑥		⑦	
		⑧			⑨		⑩	
問 8	①		②		③		④	
	⑤		⑥		⑦		⑧	

三

問 1								
問 2								
問 3	ア		イ		ウ		エ	
問 4		問 5		問 6	読			

国語

解答用紙

受験番号	
名前	

100

一

- 問 1 ① 鉄橋テツキョウ ② 証言シヨウゲン ③ 標語ヒョウゴ ④ 似ニている
- ⑤ 賛同サンドウ ⑥ 照テらし
- 問 2 ① 導く ② 整える
- 問 3 ① なさ ② こうえき ③ かぢかみ
- ④ かきとめ ⑤ ほんみよう ⑥ けしき
- 問 4 ① 委員 ② 医院異不同 ③ 性格 ④ 正確異不同
- 問 5 ① 13 ② 6 問 6 ① 才 ② ウ 問 7 ① 方法 ② 開会
- 問 8 ① ねずみ ② つる ③ かめ ④ たか
- 問 9 ① エ ② イ 各①

30

二

- 問 1 ① 訓練クレン ② 慣ナれ ③ 持続ジツク ④ 勢イキオい 各①
- ⑤ 効果コウカ ⑥ 達成タツセイ ⑦ 本格ホンカク ⑧ 感覚カンカク
- 問 2 ① はなぢ ② みかづき ③ じめん ④ イ 各①
- 問 3 (1) ア ② ア 刀 イ 朝 ウ 心 各① 問 4 ① 歯 ② 言葉 各① 問 5 ⑥ 工 ⑧ 工 各①
- 問 6 ① 工 問 7 ⑨ 簡単 ⑫ 部分 各① 問 8 ⑤ 水準 ⑩ 山場 ⑪ 場面 各②

30

三

- 問 1 手 ③
- 問 2 Aーに仕事を奪われないために何を身につけ ⑦
ておくべきか、Aーにできないことをできる
ようにしておくためにどうすればいいのかと
盛んに議論すること。
- 問 3 ア 豊かに イ 負けない ウ 学ぶ エ 本を読み思考を深める 各④
- 問 4 イ ④ 問 5 イ ⑤ 問 6 読めない ⑤

40

令和3年度

函館白百合学園中学校

オープン模試

国語 解答・解説

令和3年10月3日(日)実施



一

問1 漢字の書き取りの問題

いずれも基本的な漢字であるが、訓読みの漢字の書き取りは正答率が低い傾向にあるので、送りがないも意識して学習すべき。

問2 漢字の送りがないもふくめた書き取りの問題

訓読みの漢字は送りがないに気をつけて覚えたい。

送りがないは、用い方によって語形が変化する部分を送るのが原則。

例えば、「話す」は「話さ(十ない)」「話し(十ます)」のようになるので、変化する語尾「さ・し・す」が送りがないとなる。

ただし、「話します」は動作を表現する言葉(動詞)で用い方によって語形が変化するので送りがない「し」が必要であるが、「先生の話」の場合は名詞(ものの名前を表す言葉)であるので送りがないは必要ない。

① 「ミチビク」は「みちびか(十ない)」「みちびき(十ます)」となるので、変化する語尾は、ここでは「か」「き」、変化しない部分が「みちび」となるので「導く」と書く。

② 「トトノエル」は「ととのえ(十ない)」「ととのえ(十ます)」となるので、変化しない部分は「ととのえ」である。ここから考えると、「整る」と書けそうだが、正しくは「整える」である。これは、「受ける(う(ke)る)」、「投げる(な(ge)る)」のように、語尾が「く(ke)る」となっている場合、**e**の音(エ段の音)から送りがないとする決まりがあるため。「整える」は「ととのえ(る)」となっている。

また、「生きる(い(ki)る)」「試みる(こ(こ)る(み)る)」のように、語尾が「く(き)る」となっている場合、**i**の音(イ段の音)から送りがないとする決まりがある。あわせて覚えておこう。

問3 漢字の読みの問題

複数の読みをする漢字に注意したい。

- ② 交易 (コウエキ)・容易 (ヨウイ)
- ③ 風上 (カザカミ)・風車 (カザグルマ)・強い風 (カゼ)
- ⑤ 本名 (ホンミヨウ)・命名 (メイメイ)

問4 同音異義語の問題

- ① イインは委員・医院、② セイカクは性格・正確と漢字に直せる。

次のような同音異義語も覚えたい。



- 以外 | 意外 衛生 | 衛星 解答 | 回答 家庭 | 過程 | 仮定 関心 | 感心 感染 | 観戦
- 機会 | 機械 公園 | 講演 | 公演 消化 | 消火 生産 | 精算 | 清算 対象 | 対照 | 対称
- など

問5 漢字の書き取りと画数の問題

漢字に直すと、①置く ②印刷 となる。「印」は6画。まちがえやすいので注意したい。



画数をまちがえやすい漢字

与 近 水 級 建 都 区 印

問6 漢字の部首の問題

部首とは漢字の「意味」に当たる、漢字の一部。①「やまいだれ」は病 (やまい) に関する漢字の部首。②「るまた」は **ル** また と形のまま読んだ部首名。

出題されている漢字の部首は

- 最 (にち) 店 (まだれ) 段 (るまた) 祭 (しめす) 病 (やまいだれ) 屋 (しかばね)

代表的な部首は覚えておくと良い。



にんべん	ぎょうにんべん	りっしんべん	てへん	さんずい	ごんべん
こぎとへん	にくづき	きへん	のぎへん	しめすへん	ころもへん
りつとう	さんづくり	ほこづくり	るまた	おおざと	おおがい
なべぶた	うかんむり	くさかんむり	おいがしら	はつがしら	あなかんむり
れんが(れつか)					たけかんむり
えんによう	しんによう	そうによう			
がんだれ	まだれ	やまいだれ			
くながまえ	ぎょうがまえ	もんがまえ			

問7 漢字の書き取り(同じ読みの異なった漢字を用いた二字熟語)の問題

- ①はホウホウ(方法) ②はカイカイ(開会)である。他にもこのような言葉がある。同音異義語としても覚えてたい。
- | | |
|--------------|--------------------|
| キキ・・・機器・危機 | コウコウ・・・高校・孝行・航行・後攻 |
| セイセイ・・・生成・精製 | センセン・・・戦線・宣戦 |
| シンシン・・・心身・新進 | シュウシュウ・・・収集・收拾 |
| | ゼンゼン・・・全然 |
| | メイメイ・・・命名 |

問8 問9 慣用句・ことわざ・故事成語の問題

慣用句は文字通りの意味ではなく、別な意味で慣用的に使われる言葉で、生き物の名前や、体の一部を表す言葉を用いていることも多い。問6の解説も確認しよう。

ことわざとは、人生に役立つ教訓やいましめ、生活の知恵を示した言葉。故事成語は中国の古い文章から生まれた言葉。類似の意味を持つことわざ・故事成語も多い。意味も考えながら学習したい。次のあげたのは類似の意味を持つことわざ。意味を調べよう。



弘法にも筆の誤り 河童の川流れ 猿も木から落ちる	猫に小判 豚に真珠	馬の耳に念仏 馬耳東風	のれんに腕押し 豆腐にかすがい ぬかに釘
--------------------------------	--------------	----------------	----------------------------

問1 漢字の書き取りの問題

問2 かなづかい・漢字の読みの問題

「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」の書き分け、かなづかいに関して説明した文章。かなづかいの決まりを理解することができる。

「字面」は「文字の形や文字を並べたぐあい、見た感じ。語句が表面的に示す意味」という意味。

「面」は「つらがまえ（面構え）」などの言葉のように、「つら」と読んで、「物の表面・顔」という意味を持つから、「字面」は、「文字の」＋面（表面・見た感じ）」という成り立ちの言葉である。つまり「じ」＋「つら」となるため、「じづら」が正解。ただし、一般的ではないが、「じめん」と読むこともある。

問3 四字熟語の問題

(1) 「一生懸命」は「命をかけるように、本気で物事に打ちこむさま」という意味であるから、

- ア ひたすらに・・・ひとつの物事に集中するさま
- イ かたくなに・・・意地をはって自分の主張や態度を変えないさま
- ウ しきりに・・・同じようなことが引き続いて何度も起こるさま
- エ おおいに・・・たくさん、非常に、さかんに

最も近い意味は「ひたすら（に）」である。

(2) 「一」で始まる四字熟語は多い。

- ア 一刀両断・・・物事をためらわずに、思い切って決断、処理すること
- イ 一朝一夕・・・非常に短い期間
- ウ 一心不乱・・・ひとつのことに集中して他のことに心をうばわれないさま

他には



- | | | |
|------------------|-----------------|------------------|
| 一喜一憂 (いっきいちゆう) | 一世一代 (いっせいいちだい) | 一石二鳥 (いっせきにちよう) |
| 一期一会 (いちごいちえ) | 一部始終 (いちぶしじゆう) | 一日千秋 (いちじつせんしゆう) |
| 一長一短 (いちちよういつたん) | | |

などがある。意味も確認しておこう。

また、漢数字を使った四字熟語も多くあるので意識して学習したい。次の四字熟語の意味も調べてみよう。



- | | | |
|---------------|------------------|-----------------|
| 五里霧中 (ごりむちゆう) | 七転八倒 (しちてんぱつとう) | 十人十色 (じゅうにんといろ) |
| 四苦八苦 (しくはっく) | 千客万来 (せんきやくばんらい) | |

問4 語意の問題

「かみくだく」は文字通り「**歯**でかんでくだく」という意味と、「相手がわかるように**言葉**を言いかえる」という意味がある。

問5 二字熟語の問題

「真相」は「ある物事の真実のすがた」という意味。ここでの「相」は「すがた・様子」という意味。

「利口」は「かしこいこと」という意味。「利」は「利きく」と読み、「利口」は「口さきのうまいこと」という意味も持つ。

熟語を学習するときは、漢字一字ずつが持つ意味にも注目して、熟語の意味をとらえよう。

問6 語意の問題

「尻ごみ」は「気後れしたためらうこと、ぐずぐずすること」という意味。

身体の一部を示す言葉を用いた語句（慣用語）は多い。次の言葉の意味を調べてみよう。



首をつっこむ	首を長くする	足が出る	足が早い	頭が固い	頭を冷やす
腕が上がる	腕が鳴る	口が重い	口が軽い	腰が重い	腰が低い
手がかかる	手を広げる	鼻が高い	鼻につく	腹を決める	腹を割る
耳が痛い	耳が早い	胸が痛む	胸がすく	目が高い	目と鼻の先

問7 対義語（反対の意味の言葉）の問題

答えは、（難解⇄）容易・簡単 （全体⇄）部分・一部
いずれも基本的な対義語。

他にも次のような対義語を意味もふくめ、覚えておきたい。



間接⇄直接	奇数⇄偶数	拡大⇄縮小	異常⇄正常	決定⇄未定	欠席⇄出席	点火⇄消火
長所⇄短所	直線⇄曲線	安心⇄心配	支出⇄収入	友好⇄敵対	複雑⇄単純	原因⇄結果

問8 外来語を二字熟語に言い換える問題

答えは、レベル⇄水準 クライマックス⇄山場 シーン⇄場面

外来語（カタカナ語）は日常の中でもよく使う。外来語に限らず、「別な言葉で言い換えるとどのような言葉になるか」という視点をもっていると「自分が使える言葉」が増えるという面もある。

三

例年、一五〇〇～二〇〇〇字程度の文章の読解問題を出題しているが、今回は一七〇〇字程度の文章で、例年通り。

齋藤孝の評論、『読書した人だけがたどり着ける場所』（P B新書）からの出題である。二も同じ出典で、「読書」の効用について述べた内容の書。三の本文の内容をまとめると、次のようになる。

すさまじいスピードで進化してるAI（人工知能）が人間の脳を超え、世界が大きく変化するという。「AIに仕事を奪われないために、AIにできないことをできるようにしておく」「AIにできないことだけ一生懸命学ぶ」という考え方も生まれるが、それではAIに人生を明け渡したようなものだ。本を読み、思考を深めていくことで、私たちは人生を豊かにしていくのである。私たち「ホモ・サピエンス」知的な人」は、知を多くの人と共有し、地域や時代を超え伝えていくことができる存在だ。それを可能にするのが本を読むことなのだ。

問1 文脈をとらえる問題・語意の問題

わかりやすいのは

【お 本となる】の部分。

本文3行目に「手順」という語があり、「お 手 本」となる。
他も

【すべての 手 を覚え】（ここでの「手」は、囲碁・将棋・チェスなどの石や駒こまを動かす順番や方法という意味）

【人間の 手 を離れて】

となり、文脈に合っている。

問2 指示語の内容を問う問題

「それ」（指示語）が指し示すことを、本文中の言葉を用いて七十五字以内でまとめる問題。

原則として、「それ」のような指示語はそれよりも前の部分を指し示す言葉であるが、指示語をふくむ文、またその前後の文が読解の上で大切である。次に、指示語をふくむ文、またその前の文を挙げる。

- ① AIに仕事を奪われないためには何を身につけておくべきか、AIにできないことをできるようにしておくためにはどうすればいいのかといった議論も盛んです。
- ② しかし私に言わせればそれはナンセンスです。

まず、「それ」が指し示す言葉を短い言葉で探すと、①の文にある「議論」とすることが出来る。②の「それ」の部分に入れてみると、「議論はナンセンスです。」となるが、「議論をすることはナンセンスです。」とした方が文の意味が通る。また、「七十五字以内でまとめる」問いであるので、「どういう議論をすること」であるか、①の文を用いて、説明を加えれば良い。

問3 本文の内容・筆者の主張をとらえる問題

「本末転倒」とは、問題文中にもあるように、「重要なことと、そうではないことをとりちがえること」という意味。筆者の考えをこの二点で本文を整理する。

しかし私に言わせればそれはナンセンスです。「AIにできないこと」を予測したって簡単に覆るでしょう。現在の進化のスピードを見ても、普通の人間の想像をはるかに超える変化が起こるはずで、そこで「AIにできることは学ばなくていい、AIにできないことだけ一生懸命学ぶ」という考えはリスクにはなりこそすれ、人生を豊かにはしてはくれません。

AIに負けないことを目的に据えて生きるなんて本末転倒です。それこそAIに人生を明け渡してしまったようなものです。AIが出てこようが出てこなからうが、「自分の人生をいかに深く生きるか」が重要なのではないのでしょうか。

人生を深めるために、AIや未来予測についての本を読むのはとても有意義だと思います。1 「人間の脳を超えた知性を持つAIがいた場合、人間らしいやりとりをすることだって簡単だろう。それでは何が人間を人間たらしめるのだろうか？ 自分は何を求めているだろうか？」などと本を片手に思考を深めていくことで、人生を豊かにしていくことはできるはず。

また、問題文も同様に整理すると、

「本末転倒」とは、「重要なことと、そうではないことをとりちがえること」という意味である。ここでの重要なこととは、AIの登場に関係なく人生を（**ア** 三字）していくということである。人が生きる上で重要なのは、AIに（**イ** 四字）ように、AIにできないことを予測し、それだけを（**ウ** 二字）という考えを持つというのではない。いかに自分の人生を深く生きるかということである。そのため、（**エ**）ていくことが必要だ。

さらにわかりやすく表にまとめた。

重要なこと	
本文	問3 問題文
<ul style="list-style-type: none">・ AIが出てこようが出てこなからうが、「自分の人生をいかに深く生きるか」（が重要）・ 人生を深める・ 本を読む（のはとても有意義だ）・ 本を片手に思考を深めていくことで人生を豊かにしていく（ことはできる）	<p>AIの登場に関係なく人生を（ア 三字）していくということ いかに自分の人生を深く生きるかということ</p> <p>（エ）ていくこと（が必要だ）</p>

そうではないこと	
本文	問3 問題文
<p>・「AIにできることは学ばなくていい、AIにできないことだけ一生懸命学ぶ」という考え（はリスクにはなり）</p> <p>・「AIにできないこと」を予測し（たって簡単に覆る）</p> <p>・「AIに負けないことを目的に据えて生きる（なんて本末転倒）</p>	<p>AIに（イ 四字）ように、AIにできないことを予測し、それだけを（ウ 二字）という考えを持つということ</p>

問題文【人生を（**ア** 三字）していく】⇨本文【人生を・・・深く生きる】
 と考えられるが、指定字数にならないので、「人生を・・・深く生きる」と同意の「人生を豊かにしていく」から書きぬく。

さらに、問題文末尾は、

【「人生を深く（豊かに）生きる」ために（**エ**）ていくことが必要だ。】
 と読める。これとほぼ同じ表現である本文の

【本を片手に思考を深めていくことで、人生を豊かにしていくことはできる】
 の部分に注目する。ここから（**エ**）は【本を片手に思考を深めていくこと】と考えられるが、「本を片手に」をわかりやすく言い換える必要がある。本文に【本を読むのはとても有意義だ】という表現もあることから「本を片手に」を「本を読み」と言い換える
 と、（**エ**）は十字以内で「本を読み思考を深める」とまとめることができる。

問4 文脈をとらえる問題・接続詞（つなぎの言葉）を入れる問題

1 の前後は【AIや未来予測についての本】を読んで「何が人間を人間たらしめるのか」考えることは人生を豊かにするという

文脈で、**1**の後は、本の内容の例示であるので、「たとえば」が入る。【人間の脳を超えた知性を持つAIがいた場合、・・・自分
は人間に何を求めているだろうか?」などと】とあるところもヒント。

【偉大な人が人生をかけて真理を探究し】 **2** (同列の内容を並べている) || あるいは 【身を削って文学の形に昇華させ】

【それを本の形にして誰でも読めるようにしている。】 **3** || だから 【知を進化させていくことができます。】

【アリだって・・・さまざまなコミュニケーションはとっています。】 **4** (逆接) || しかし・でも 【動物や虫たちは地域や
時代を超えたところにいたものたちが、何を考えていたかを知ることができません。】

問5 本文全体の内容をとらえる問題

イの傍線部は本文の中では述べられていない。

本を読むことで、人間らしいやりとりを身につけられる。そして、他の動物、虫にはない感情表現が生まれることで、コミュニケー
ションの中で、自分の思いを伝え、相手の思いも必ず感じ取れるようになるから。

問6 文脈をとらえる問題

「本を読まない」ではなく、【それよりも良くない状態】になってしまったら、人類の未来は明るくない・・・
という文脈。

直前に【集中力もさらに低下して】とあるので、「読む能力が低下する」 || 「読めなくなる」とも考えられる。

「本を読まない」よりも読めなくなると人類の未来は明るくない。
と考えられることから、答えは「読(めない)」